

保健・消防センターが完成

うじ安心館

まもなく完成の宇治市保健・消防センター「うじ安心館」(10月18日撮影)



11月9日(日)から業務開始

この「うじ安心館」は、進展する少子高齢社会において、それぞれのライフステージに対応したさまざまな保健施策の展開を図り、市民の健康づくり支援を行うとともに、消防・防災部門を同一施設内におき、総合的な防災施策を展開するためのそれぞれの機能を備えた複合施設として建設いたしました。



宇治市長 久保田 勇

市民の皆様の 安心と安全を守る施設に

疾病予防施策を健やかセンターを中心に、強力に進めてまいりたいと考えています。

また、防災施設としては、消防本部・中消防署・防災対策課などの各種防災機能を集中して配置するとともに、建物自体も万が一の大規模災害に対応できる機能を備えており、災害に的確かつ迅速に対応できる体制が整備できたものと考えます。

保健と消防・防災の複合施設という特徴を生かし「市民の安心と安全を守る」本市の基幹施設として、今後も「うじ安心館」を中心に各種の施策を推進・展開してまいりたいと考えておりますのでご協力を賜りますようお願いいたします。

なお、建設にあたり、格段のご理解とご協力を賜りました関係者の皆様に心からお礼を申し上げます。

宇治市保健・消防センター「うじ安心館」は、まもなく第2期工事が完了。11月9日(日)から本格的に業務を開始します。「うじ安心館」は、健やかセンター・休日急病診療所・歯科サービスセンター・防災対策課・消防本部・通信指令室・中消防署などが配置され、市民生活の安全と保健福祉の両面を見据えた、総合的で複合的なサービスの充実を目指した施設です。

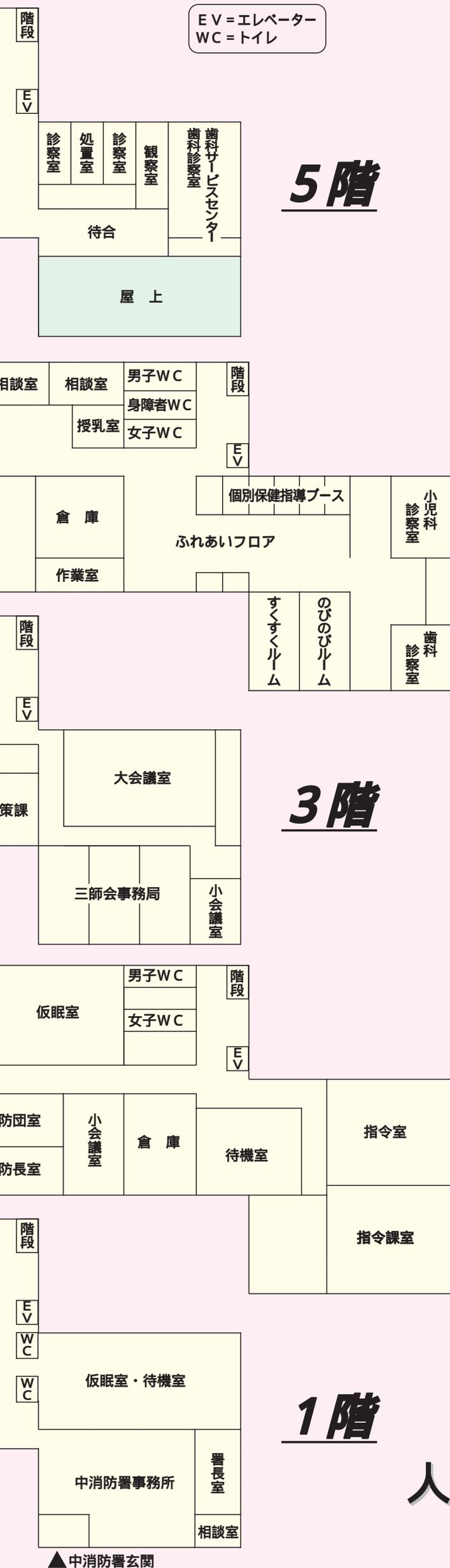
位置図



[所在地]
〒611-0021
宇治下居 13-2

図と事業案内

うじ安心館は こんな施設



● 保健施設としては...

健やかセンターと休日急病診療所、歯科サービスセンターがあります。広く明るい健やかセンターは、バリアフリーで、さまざまなライフステージに対応した健康教育や相談事業など幅広く活用できます。

市では、「宇治市健康づくり推進プラン」を進めており、スローガンである「こんにちとは笑顔で健やか宇治のまち」の実現に向けた健康づくりの拠点としての保健活動を展開していきます。

● 消防・防災施設としては...

消防本部・中消防署・防災対策課を配置することで、防災対策の立案から実践までを一括して迅速に行えます。さらには、最新の消防通信指令システムを完備し、発信地表示・車両動態位置管理・自動出動システムを組み込むことにより、迅速で確実な消防・救急・救助活動ができます。また、大規模災害時には、防災対策本部に情報を集中させ、的確な指揮活動が行える市の防災拠点としての機能を備えています。

● 建物全体としては...

72時間の停電にも対応できる自家発電設備を備え、阪神・淡路大震災クラス地震にも耐えられる強固な構造です。災害時には、臨時的な避難場所としても活用できる多機能複合施設として設計されています。また、省エネ対策として、地下に雨水を利用した100tの防火水槽を設置。空調効率を高めるため、窓には高遮熱ガラスを採用、階段室などには、人が通ると明かりが点灯する人感センサー付き照明を採用するなど環境にもやさしい施設です。

2階

- 消防本部 消防全般
 - 119番指令センター
 - 防災管理者講習会・危険物取扱者講習会・救急講習会
 - 消防同意や、消防用設備・危険物施設の設置の相談
 - 開発にかかる消火栓・防火水槽の設置の相談
 - 消防に関する各種相談



消防通信指令システム

1階

中消防署は、11月4日(火)からうじ安心館で業務を開始します。

- 中消防署
 - 各種災害出動(火災・救急・救助)
 - 消防用設備の維持管理や、少量危険物の取り扱いの相談
 - 防火に関する相談



防火に関する相談

人や環境にやさしく、
もしもの災害に強い施設です。

各階の配置図



休日急病診療所(歯科)



予防接種



乳幼児健康診査



乳幼児相談



防災会議

5階

- 休日急病診療所(小児科・内科・歯科)
- 歯科サービスセンター(心身障害児歯科診療)
- 予防接種
- マタニティ講座
- 離乳食教室
- ハッピーダイエット教室
- 成人健康相談

☆調理室は、障害のある人や高齢者にも使いやすいように、車いす対応の昇降式調理台や電磁調理器を設置しています。
 ☆集団指導室には沐浴(もくよく)コーナーがあり、赤ちゃんの人形を使ってお風呂に入れる体験ができます。

4階

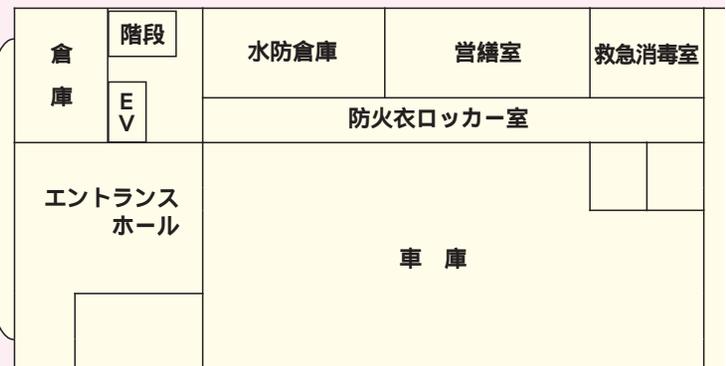
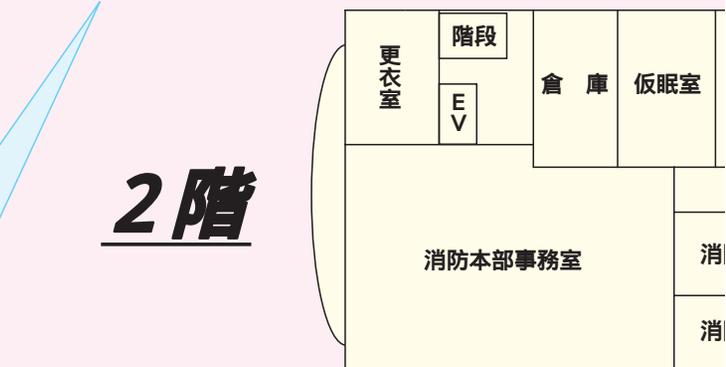
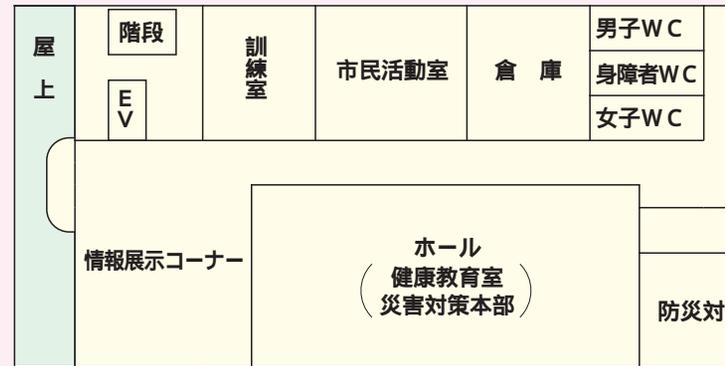
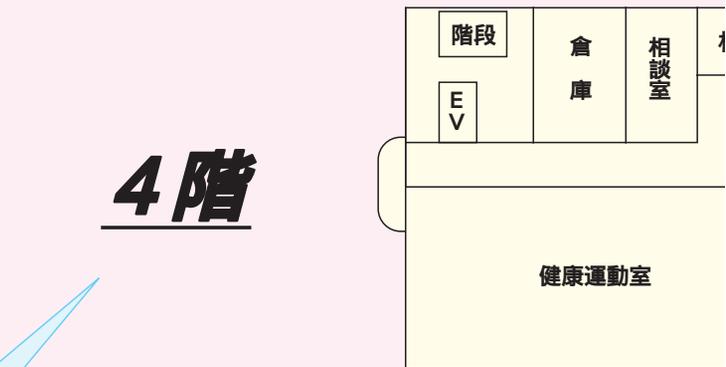
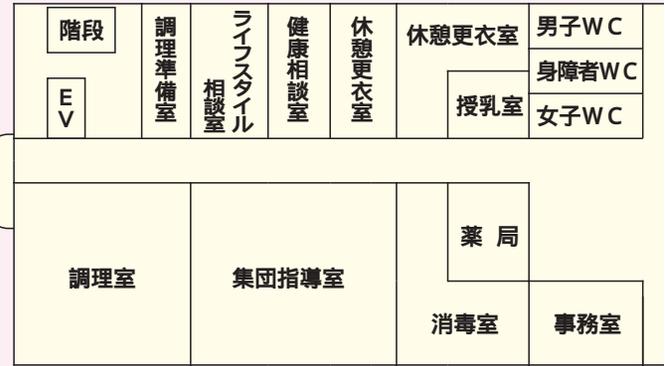
- 乳幼児健康診査
 - 3か月児健診 ○ 10か月児経過健診
 - 1歳8か月児健診 ○ 3歳児健診
- 乳幼児相談
- 健診後のフォロー教室
- 発達相談
- 健康づくり運動教室など

☆ふれあいフロアは、床暖房のある明るく快適な空間で、絵本を読んだりおもちゃで遊んだりしながら楽しく乳幼児健診や相談が受けられます。
 ☆相談室では、乳幼児の発達や育児の心配ごとなど個別に相談に応じます。
 ☆健康運動室では、乳幼児から成人、老人までの健康づくり教室を行います。

3階

- 情報展示コーナー
- 市民いきいき健康講座など
- 防災業務全般
 - 自主防災組織に関する相談
 - 災害対策本部・宇治市防災計画の作成
- 各種講習会

☆3階ホールは、災害時には対策本部が設置されますが、普段は健康づくりのための講演会や各種講習会などを行います。
 ☆情報展示コーナーは、健康や子育て、消防・防災に関するパンフレットや展示があり、ゆっくりくつろぐこともできます。



【各階の電話(ファクス)番号】

階	担当課等	電話番号
5階	休日急病診療所	☎ 39-9430
3階	防災対策課	☎ 39-9421
2階	消防本部	☎ 39-9400 FAX 39-9406
	消防総務課	☎ 39-9401
	警防課	☎ 39-9402
	予防課	☎ 39-9403
1階	中消防署	☎ 39-9410
		FAX 39-9412

中消防署は11月4日(火)から上記の番号に変わります。ご注意ください。

正面玄関



防災資機材を準備しよう

下記を参考に、地域の状況に応じた資機材を自主防災組織で準備しておきましょう。

- 電池式メガホン
- ヘルメット
- 懐中電灯・強力ライト
- 消火器
- 応急医薬品
- テント
- たんか
- ロープ
- 可搬ポンプ
- 工具類
- 自主防災組織の旗
- 携帯用ラジオ
- はしご
- 自家発電装置
- ビニールシート
- 炊飯用具

自主防災組織をつくらう

地域の連帯が被害を最小限に

地域に住む皆さんが、協力し合ってこそ災害に強い地域ができます。個人や家庭ごとの防災活動も大切ですが、いざというときには、その地域で暮らしている皆さんの協力による防災活動が大きな力を発揮します。

自主防災組織は、町内会や自治会などを中心に地域の皆さんで構成されるもので、災害が発生したときに地域で自主的に行っていたく応急活動(初期消火や負傷者の救出・救護活動など)の基盤となります。まずは、自主防災活動をより身近なコミュニケーション活動の一環として位置付け、地域の連帯感を深めていきましょう。

市では、災害に強いまちづくりを進める施策の一つとして、こうした自主防災組織を結成していただくよう呼びかけています。また、自主防災組織が防災用の資機材などを購入する場合に補助金を交付しています。購入の際は、事前に防災対策課にご相談ください。

できるはず 災害のないまちづくり

こんなところに気をつけて 火災を防ごう

市内の火災に関する統計では、毎年火災原因の上位に「放火」「コンロ」「たばこ」「火遊び」があげられます。



放火を防ごう

- ◆家の周りを整理する。
- ◆家の周りに燃えやすい物を置かない。
- ◆カギを確実にかけ、周囲を明るくする。

コンロ火災をなくそう

- ◆火を使っているときは、その場を離れない。
- ◆火は必ず消す。



火遊びをなくそう

- ◆マッチやライターなど、火遊びの道具になるものはしっかり管理する。



たばこに注意

- ◆寝たばこをしない。
- ◆たばこのポイ捨てをしない。
- ◆灰皿に水を入れておく。

秋の火災予防運動

11月9日(日)~15日(土)

その油断 火から炎へ 災いへ

この講演会は、「うー茶んシール」対象事業です。

申し込み：参加希望日・住所・氏名・骨量測定希望の有無・希望する場合は性別もを記入し、郵送かファクスで保健推進課(〒611-18501住所省略可、FAX 24-8761)へ。なお、講演会は各先着200人ですが、骨量測定は希望多数の場合抽選します。

定員：各先着200人 参加無料

講師：京都大学医療技術短期大学教授・坪山直生さん

○とき：11月28日(金)午後1時半~3時半
 テーマ：「眠れる良い遺伝子を自覚めさせよう」
 講師：筑波大学名誉教授・村上和雄さん
 ○とき：11月29日(土)午後1時半~3時半
 テーマ：「丈夫な骨で明るい人生」
 骨量測定があります

うじ安心館完成記念事業 健康づくり講演会

お知らせ 11月1日(土)から 玄関が変わります

うじ安心館の全面オープンに伴い、新たに正面玄関ができます。昨年11月の第1期工事完成時からご利用いただいていた玄関は閉鎖します。休日急病診療所・健やかセンター・歯科サービスセンター・消防本部をご利用の際は、正面玄関からお入りください。

また、消防本部玄関としてご利用いただいていた玄関は、中消防署専用の玄関となりますので、お間違のないようご注意ください。



＜ご存じですか？健康づくりシンボルマーク＞

宇治市のイニシャルである「U」の文字を人に見立て「うー茶ん」と名づけられました。健康に輝く「うー茶ん」が笑顔でウォーキングする姿としてデザインされています。健康のために緑黄色野菜を食べることの大切さや、きれいな空気・水をイメージした色使いで、心身ともに癒やされる健康づくりをイメージしています。